

県内初!! 建設産業界待望の 土木工学科(仮称) 2022年春開学!



土木工学科棟(仮称)の外観イメージパース



土木工学科棟(仮称)の建設予定地

設計コンセプト

1. 連絡通路を通して、建築学科棟と連携することで建築と土木の融合を表現
2. 土木のスケールの構造で建築学科棟と対をなす
3. 開放的なワンルームに点在する学生の居場所
4. 既存の駐車場への新しいアクセス路の造成
5. 将来計画への布石

規模は、鉄筋コンクリート造4階建て延べ3,468㎡。建築面積は961㎡。建設地は、建築学科棟の北側。設計は栗生総合計画事務所(東京都文京区)が担当。

- 1F 対話/協働/発表のフロア 多目的作業、アクティブラーニング、プレゼン用スペースを配置。土留め擁壁は映像投射を可能にする。
- 2F 知識学習のフロア 大教室と2教室の計3教室。隣接する建築学科棟につながるブリッジを配す。
- 3F 知的交流のフロア パソコン室とライブラリー、ラウンジ、教員居室を用意。
- 4F 研究創造のフロア 研究室5室をメインに教員スペースを設ける。研究室間や廊下の間仕切り壁をなくし、家具などで仕切る。研究分野同士の交流を促す。



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆ 静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

※ご応募いただく際お預かりする個人情報、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION
(一社)袋井建設業協会

新築する施設の特徴を教えてください。

コンクリートの巨大な三つのコアと今まであまり使用されていないワッフルスラブを使用し、耐震性とオープンな空間を両立する構造体とすることが挙げられる。また、傾斜地に建設することから、建築学科棟と連絡通路で接続することで、建築と土木の融合を示したものとする。

地元建設業界に一言お願いします。

東西に長く、海岸線や河川、山間地が充実している静岡県。県内で学んだ学生が、地元で貢献できるかが重要となる。県内就職を希望する在学生が多い。彼ら・彼女らが同期として県内に残ってくれると心強い。建築学科は設立から4年が経過した。担当教員から就職活動は良好だと聞いている。また、企業との共同研究にも力を入れるとともに、インターンシップなどの活動を通して、できるだけ地元の企業、行政と連携して、人材を育てていきたい。



静岡理科大学
学 長 野口 博氏
企画室室長 山下 博通氏
県建設業協会 (総務・広報委員会)
委員長 佐野 茂樹氏 (青木建設社長、三島建設業協会)
副委員長 三尾 祐一氏 (三与建設社長、富士建設業協会)
委 員 松下 進一氏 (松下組社長、袋井建設業協会)

理工学部土木工学科の特色と役割

教育目標

力学から水理、土質、材料、構造、交通、景観までの幅広い分野を教え、設計、施工、コンサルティング分野をカバーする。土木を通じて人間生活に関わるあらゆる分野へと視野を広げる工夫を進める。

社会環境・ニーズ

静岡県は、鉄道、港湾、空港を完備する交通の要所。大震災時には日本全体が機能不全に陥る。それを未然に防止するため防災知識を有した技術者の育成が必要。地元ゼネコン、コンサルタントをはじめ、土木関連会社からは学科の設置要望と卒業生採用の要望が多い。

学校資本

静岡県内で、土木工学科としては初めての設置となる。

競合にない独自性

静岡で育てた土木技術者が静岡県土を守る。地元ゼネコン・コンサルタントに加え、静岡県や市といった行政機関への就職も社会貢献につながる

教育の理念(ミッション)

県内で防災・減災、社会インフラの整備、成熟化社会、高齢化社会、地球環境問題に対応する新しい土木分野で活躍が期待できる人材を育成する。少人数で決め細かい教育により、地元に着目して貢献・活躍できる人材を輩出する。



静岡理科大学と袋井建設業協会との交流

- 2017年 9月 8日 同校建築学科関係者と意見交換会開催
・袋井建設業会館にて大学や建築学科の概要、所属する教員、研究施設・実験設備などについて説明を受ける。
- 2018年 2月15日 2回目の意見交換会開催
・同大学内で建築学科棟や環境実験室などの研究施設、実験設備を見学。
・同校から野口博学長や丸田誠教授らが参加。
- 2018年11月 6日 建築学科教員との意見交換会開催
・同校建築学科に所属する教授9人との意見交換会開催。
- 2019年12月14日 現場見学会開催
・第35回静岡県建設業協会建設もの創り大賞(建築部門)最優秀賞の「ジュピロクラブハウス・アスリートセンター」(磐田市)を見学。同校の学生約20人と教授5人が参加。



2022年春、静岡理科大学に土木工学科(仮称)が開学

~静岡理科大学 野口学長にインタビュー~



◆略歴◆

静岡理科大学 学長 野口 博
東京大学工学部建築学科卒業
同大学院工学系研究科建築学専攻
博士課程修了(工学博士)
千葉大学名誉教授

◆学科メモ◆

学 科 名 理工学部 土木工学科(仮称)
入学定員 50名
収容定員 200名(各学年50名×4学年)
専任教員 9名
設置時期 2022年4月

※土木工学科(仮称)は設置構想中の予定であり、今後変更の可能性があります。

土木工学科設置の背景を教えてください。

人口約365万人の静岡県に土木工学科が無いことを問題視した。加えて、人材と若い担い手不足が大きな課題となっている地元建設業界、行政からも設置のニーズが非常に高く、大学で土木の専門分野を基礎から学んだ人材が求められている状況があった。さらに、静岡県内は鉄道、港湾、空港も完備し、交通の要所であり、大規模な地震時には日本全体が機能不全に陥る。それを防ぐため、静岡県だからこそ土木と防災の技術者が必要だと考えた。若い人もインフラの老朽化と大規模災害の発生に対する保全の切迫性は認識している。

防災・減災に加えてi-Constructionへの対応など、従来型にとらわれずに取り組むことができるのが「土木」であり、さらに魅力は増していると思う。

教育内容はこういったものになりますか。

土木工学分野を専門に学ぶことができる学科は、県内大学では今までに無く、静岡で育てる土木技術者は大学では初めてとなる。

育成に当たっては、南海トラフ巨大地震、台風などによる河川の洪水、崖崩れなどに対して、災害に強いインフラ整備などの「防災・減災」、橋梁や道路などの「社会基盤の維持管理」、高齢者も便利に暮らせるような「未来型のまちづくり」などを視野に入れていく。さらに、急速に進む情報化技術の活用を含むi-Constructionの動きを捉え、AI、ICT建機、ドローンなどでいかに効率化できるか、データ分析技術などを取り入れていきたい。また、土木分野でもデザイン力、景観への配慮、地球環境保全が求められる。施設も土木工学科棟が建築学科棟と並んで建てることから、建築と連携してデザイン力の育成を図っていきたい。

入学定員などの規模は。

入学定員は50人で、4学年そろると200人となる。専任教員は9人を予定している。現在、8人に内定を出している。そのうちの1人は建設マネジメントを専門にしている女性の教員を予定している。

施設は。

建築学科棟と同程度の規模で、4階建て延べ3400平方メートル程度。土木のプレゼンテーションができる場所や対話型の部屋、教室、会議室、ゼミ室の他、実験室も別棟で造る。実験棟には、水工学やコンクリート工学、構造や土壌について学べる設備を導入する計画だ。

「ものづくりの現場を視察・調査し、考え、議論・発表する。そして、また考える」という土木工学特有の思考サイクルを最大限加速する建築空間とする。また、地震などの災害に強い施設を目指す。この他、今まで建築と土木は距離が感じられる存在だったが、新しい土木工学科を設置するに当たって、育つ時から隣同士で距離が近いものとして環境を整備していく。



建築学科と隣接する土木工学科棟



講堂からの見返し



内観パース(4F)



令和3年(拝殿屋根)の修復工事が行われます。
 広くご奉賛(寄付)を募らせていただきたく、お願い申し上げます。

見付天神
 矢奈比賣神社



悪平太郎像

その昔、毎年、家の棟に白羽の矢が立った家の娘は、8月10日の見付天神の祭りに人身御供として捧げられるしきたりがありました。村人たちは、祭りのたびに泣いて悲しみました。ある年、見付を訪れた旅の僧侶がこの話を聞き、このしきたりを無くせないものかと思案しました。そして、これが怪物の仕業であること突き止め、怪物たちが「信濃の国の悪平太郎にしろせよ」とささやくのを聞きました。そこで、悪平太郎が光前寺(長野県駒ヶ根市)で飼われている犬だということが分かり、この犬を借りて次の年の祭りの日に、人身御供の身代わりに悪平太郎を柩に入れて、見付天神に供えました。そして、怪物が柩を開けた瞬間、悪平太郎は怪物に襲い掛かり、長い格闘の末、怪物を退治しました。その怪物は大きな年老いたヒビでした。その後、人身御供のしきたりはなくなったといわれています。



霊犬 悪平太郎伝説

御由緒

矢奈比賣神社の創立年月は詳らかではありませんが、延喜式内に社に列しています。
 主祭神 矢奈比賣命は、千三百年以上前より祀られており、相殿 菅原道真公は一条天皇正暦四年(九九三年)に勧請奉祀されています。
 続日本後紀に承和七年六月戊辰(八四〇年)奉授、遠江国磐田郡無位矢奈比賣天神従五位下とあり、また三代実録に貞観二年正月戊寅(八六〇年)詔授、遠江国従五位上と神階を授けられています。

中東遠の神社を訪れる 8

国指定重要無形民俗文化財 見付天神祭

当神社の例祭は「見付天神祭」です。この祭は、国の重要無形民俗文化財に指定されています。初日の「祭事始め」の神事に始まり、最終日の還御まで、実に八日間わたる祭です。なかでも旧暦八月十日直前の土曜日に行われる裸祭の神事は、天下の奇祭とされ遠近からの見学者で賑わいます。
 当夜は氏子の男子は老幼を問わず禪に腰巻を身に付け、鉢巻き、草鞋がけの姿で声も勇ましく町々より見付天神へ練り込み、拝殿内で乱舞します。これを「鬼踊り」と称します。
 練りが最高潮に達し、いよいよ神輿渡御の時刻となると見付の町は一斉に明かりを消して漆黒の闇となります。幾千の腰巻姿の氏子は神輿を奉じて闇の中をひた走り、御旅所である遠江国総社(淡海國神社)へと向かいます。この勇壮な祭は、言葉での表現はとて難しく、ぜひ一度ご覧になることをお勧めします。



2016年9月鬼踊り

見付天神祭 日程

- 七日前 祭事始め・御葉下ろし
- 三日前 浜垢離
- 前日 御池の清祓い
- 旧暦八月十日直前の土曜日 例祭
- 例祭当日 裸祭
- 翌日 還御



還御

ステーション
 建設STATION



未来の「担い手育成講座」～令和2年9月11日、県立掛川工業高等学校にて～

【講義：建設工事のICT技術と建設産業の役割について】

【3次元測量機体験】



このコーナーでは、袋井建設業協会が携った土木・建築工事を中心にご紹介をしておりましたが、今回はちょっと変わった視点で協会が行っている「担い手育成への取組」のご紹介をさせていただきます。
 令和2年9月11日、(株)藤本組と(株)松下組は、静岡県教育委員会の依頼を受け、掛川工業高等学校でVR・ドローン体験型講義を行いました。今回で2回目となります。
 体験型講義では、高校生は企業が実際に使用している機材を使って先端技術を学び、体験することが出来ることから、質の高い学習の場となります。
 一方、地元企業は、高校と連携して実習を行うことにより、生徒さんへの地元企業の認知度アップと建設業への理解と興味を持ってもらうことが期待できます。
 当日は、講義・3次元測量機体験・VR体験・ドローン体験の4ブースに分けて行いました。

【VR体験】

【ドローン体験】



建設業の若者就業率は他の産業と比べても低く、生徒・学生の話や建設業のイメージは、「つるはしやスコップを持つての作業」と思っている人がほとんどでした。人力での作業が全くないわけではありませんが、力仕事で重労働というイメージにより、建設系の専門学科を学んだ生徒・学生でさえも、建設業以外の他業種への就業が進んでいると話をよく聞きます。
 建設業の魅力を知り、建設業への関心や興味を持ってもらうには、今回開催させていただいた「出前講座」のほか、建設業協会等で実施している「インターンシップ」や「現場見学会」などを積極的に活用していただき、IT技術等を使った先進的技術による設計・施工方法や完成構造物を実際に見て触れるといった体験をしていただくことが大切であり必要と思います。
 また、教える側の間も、若手社員が対応することにより、生徒さんとの年齢的な壁がなくなり、話しやすく教えやすい環境ができることにも、講師役の若手社員のスキルアップにもつながります。
 このような授業に参加させて頂いたことがきっかけとなり、建設に関連する仕事に携わる人が増えればこの取り組みは大成功だと思います。これからも、この取り組みは続けていきます。

協会活動報告

令和2年7月～10月

理事会

- 7/9(木)令和2年度第4回理事会
袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会開催
- (社)袋井建設業協会地震等災害対応計画の策定
- 災害時安全確認システム「安否コール」に係るアンケートの実施
- 第11回ボウリング大会の開催
- 協会活動報告(正副会長職務執行状況)
- 県協会理事等との結果報告
- 道路河川愛護運動の実施計画
- 災害協定に係る名簿等の提出依頼
- 第11回献血活動の実施 ほか
- 9/8(火)令和2年度第5回理事会
「安否コール」アンケート結果に基づき今後の対応袋井土木事務所及び中遠農林事務所との意見交換会開催計画
- 静岡県道路公社との災害支援協定の終了
- 令和2年度静岡県建設業協会県下斉情報伝達訓練結果
- 道路愛護・河川美化活動の活動実績
- 空調設備の改修 ほか
- 10/19(月)令和2年度第6回理事会
役員理事職辞任申し出への対応
令和3年度会員研修実施の見通し
令和3年度「新年のごじ」企画内容
協会事務職員の採用計画
「安否コール」説明会開催結果等
第11回献血活動結果 ほか

委員会等報告

- 7/9(木)第4回正副会長会議
令和2年度第4回理事会工程議案報告事項

- 7/28(火)
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育(全コース) 【受講者30名】
- 7/30(木)～31(金)
職長安全衛生責任者教育 【受講者22名】
- 8/19(水)～20(木)
足場組立て等作業主任者技能講習 【受講者7名】
- 8/26(水)
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育(全コース) 【受講者29名】
- 9/4(金)
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育(全コース) 【受講者30名】



9.4 フルハーネス特別教育

その他の行事

- 7/10(金)
JCMDVDセミナー
事例から学ぶ「現場の失敗」のしくみ 【出席者27名】
- 10/8(木)
監理技術者講習 【出席者31名】

表彰

- 受賞、誠にありがとうございます。
今後、益々の活躍と発展を祈念申し上げます。(敬称略)
- 令和2年度静岡県建設業団体連合会会長表彰
会員団体等の役員として尽力、建設産業の改善・発展に顕著な功績
榎林 慎悟 (榎林組 掛川市)
- 令和2年度静岡県優秀施工者知事表彰
建設技術・技能が優秀で工事実績を有し、建設現場従事者の模範
榎林 慎悟 (榎林組 掛川市)

- 9/8(火)第5回正副会長会議
令和2年度第5回理事会工程議案報告事項
- 10/19(月)第6回正副会長会議
令和2年度第6回理事会工程議案報告事項

総務委員会(労務委員会)

- 8/5(水)第2回総務委員会
令和2年度第11回親睦ボウリング大会開催の可否
- 9/9(水)「建設業に対する労働時間等説明会開催」
【参加者17名内、会員外3名】
- 労働時間に関する労働基準法等の開設について
建設業における働き方改革について ほか
【講師：磐田労働基準監督署監督官 中部地方整備局建設産業課長補佐等】
- 9/10(木)第11回献血活動
【袋井建設業協会駐車場】献血者44名
- 9/16(水)第3回総務委員会
組合員協会員への「安否コール」アンケート結果報告説明会開催
- 「安否コール」運営体制見直し等に係る今後のスケジュール等
- 10/6(火)「安否コール」アンケート結果等説明会
アンケート結果の報告、今後の運用・運営体制等

安全委員会

- 7/2(木)第34回袋井地区建設業安全大会
安全管理優良事業場等の表彰
令和2年度事業計画等の報告
「安全の誓い」唱和 ほか
- 10/6(火)安全委員会役員会
三者合同安全パトロール年末パトロールの実施
技能講習講師団の講師養成
- 10/16(金)第47回静岡県建設業労働災害防止大会参加
(袋井・森地区)「磐田労基署・中遠農林協会安全委員 参加者0名」

- 鈴木良治 (榎アキヤマ)
- 池野之啓 (丸明建設) (袋井市)

令和2年度静岡県優良建設工事表彰

- 静岡県交通基盤部局長表彰
優良工事部門 塚本建設 (袋井市)
- 優良技術者部門 桑田学 (榎東建設 (袋井市))
- 地域貢献部門 榎東豊興業 (掛川市)
- 榎鈴恭組 (磐田市)
- 静岡県経済産業部長表彰
優良工事部門 榎富宗建設 (磐田市)
- 優良技術者部門 藤原秀記 (磐田市)
- 優良工事部門 金原建設 (掛川市)
- 優良工事部門 榎松下組 (掛川市)
- 榎富宗建設 (磐田市)
- 榎小原組 (掛川市)
- 優良技術者部門 宮崎守人 (大沼建設 (森町))
- 安全工事部門 榎山田 (掛川市)
- 榎富宗建設 (磐田市)
- 石川建設 (磐田市)
- 優良工事部門 大沼建設 (森町)
- 榎マルブンプロテクト (袋井市)
- 優良技術者部門 片桐文嗣 (榎大浜中村組 (掛川市))
- 杉浦秋光 (榎松下組 (掛川市))
- 安全工事部門 榎松下組 (掛川市)

その他表彰

- 令和2年度建設共制度普及協力者に対する支部長表彰
榎永井組 (袋井市)
- 建設防犯支部 令和2年度支部長表彰
事業場賞 榎山田 (掛川市)
- 功労賞 三浦一也 (竹初建設 (森町))
- 功績賞 岡本克幸 (掛川土建 (掛川市))
- 福田達弘 (石川建設 (磐田市))
- 建設防犯支部 令和2年度安全確認等表彰
佳作 宮本洋志 (榎松建設 (磐田市))
- 建設防犯支部 令和2年度袋井分会長表彰
優良事業場賞 榎村田建設 (掛川市)
- 中山建設 (掛川市)
- 榎鈴恭組 (磐田市)
- 榎マルブンプロテクト (袋井市)
- 建設防犯支部 令和2年度安全確認等表彰
優秀賞 新井由紀美 (正光建設 (森町))
- 佳作 柳澤秀雄 (丸明建設 (袋井市))

- 10/22(木)三者合同安全パトロールの実施
(小笠地区)「磐田労基署・袋井土木協会安全委員 参加者7名」

広報委員会

- 7/15(水)第3回広報委員会
会報「つちおと」第149号の校正等
- 8/1(土)
会報「つちおと」第149号の発行
- 8/20(木)第4回広報委員会
会報「つちおと」第150号の編集計画
- 9/15(火)第5回広報委員会
会報「つちおと」第150号の編集会議
- 10/21(水)第6回広報委員会
会報「つちおと」第150号の編集・校正会議

技術委員会 土木部会

- 7/29(水)第1回土木部会
(第2回技士代議員会 合同会議)
理事会及び各委員会の報告等
当面の事業について ほか
- 7/29(水)技術者講習会
講演「公共工事における安全管理の重要性と静岡県認定・新技術を活用した工事成績戦略及び2020年度積算基準改訂のポイント」について他2件 【参加者60名】

技術委員会 対策部会

- 7/20(月)第3回「対策部会」
Webリモート技術の習得について
- 8/4(火)第4回「対策部会」
第1回「講習会」開催準備
- 第3回「講習会」開催打ち合せ
- 8/4(火)第1回「講習会」
技術者のための「1日集中エッセル入門セミナー」
技術者のための「1日集中エッセル入門セミナー」 【参加者15名】
- 9/17(木)第6回「対策部会」
第3回「講習会」開催準備
- 第3回「講習会」開催準備
- 9/17(木)第3回「講習会」
技術者のための書類作成に役立つ「Docworks」

- 実践活用セミナー
9/24(木)第7回「対策部会」
第4回「講習会」開催準備
Zoom講習会について
- 9/24(木)第4回「講習会」
技術者のための「Zoom」(Microsoft Office 365)体験セミナー 【参加者16名】
- 10/12(月)第8回「対策部会」
第1回「講習会」開催準備
- 10/28(水)第1回Zoom講習会
「Zoom」入門(体験)セミナー 【参加者6名】

環境災害対策委員会

- 防災用小型P通信機送受信訓練
実施日(4月21日、5月14日、6月4日、8月29日、7月16日、8月6日)
- 災害時安全確認システム「安否コール」に係るアンケート実施
7月13日～7月31日(全組合員)
- 8/18(火)第2回環境災害対策委員会
災害時安全確認システム「安否コール」に係るアンケート結果
アンケート結果に基づき理事会への意見・提言内容 ほか
- 9/16(水)第3回環境災害対策委員会
「安否コール」に係る「意見・提言書」の理事会報告提出結果
- 9/16(水)通信機送受信訓練結果と今後の対応
- 9/23(水)25(金)災害支援協定に基づく農業用施設確認現地研修の実施
・海岸保全施設、地すべり防止施設等19施設
【参加者32社、参加者64名】
- 10/5(月)袋井建設業協会災害対策本部要員研修
災害対策本部の設置・資機材等の確認 【参加者13名】
- 各種研修会・講習会
7/8(水)
現場管理者統括管理講習 【受講者15名】
- 7/16(木)
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育(全コース)型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習 【受講者30名】
- 7/21(火)～22(水)
フルハーネス型安全帯使用作業特別教育(全コース) 【受講者11名】

建設業界の皆様へ

建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

令和3年3月

建退共の掛金が電子申請で納付可能になります！

| | | |
|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ◎法律に基づき運営される国が作った制度 ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価 ◎国からの財政上の支援(国の助成により掛金の一部が免除) | <p style="text-align: center;">特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎掛金は全額非課税(損金または必要経費に算入できます) ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給 ◎加入の手続きは簡単(各都道府県の建退共支部で加入) | <ul style="list-style-type: none"> ●加入できる事業主 建設業を営む事業主 ●対象となる労働者 建設業の現場で働く方 ●掛金は一日310円 |
|---|---|---|

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 静岡支部 | 〒420-0857 静岡市葵区御幸町9-9 | TEL 054-255-6846

[建退共本部のホームページをぜひ、ご覧ください](#) | [建退共](#) | [検索](#)



安全の道しるべ



第34回 袋井地区建設業安全大会

令和2年7月2日(木) 於:袋井建設業会館2階大会議室/40名参加



■安全標語・けんせつ川柳入選作品

【優秀賞】 正光建設(株) 新井由紀美
「確認と 譲る気持ちで 自己(事故)防衛」

【佳作】 柳澤秀雄 丸明建設(株)

第47回 静岡県建設業労働災害防止大会

令和2年10月16日(金) 於:静岡労政会館/8名参加



開会のあいさつ

事業場表彰代表 (株)石川組 澤村一彦氏

今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、いずれの大会も参加者の入場制限をしておの開催となりました。建災防静岡県支部の大会には、当会より受賞者を含めて8名参加しました。第57回全国建設業労働災害防止大会は、Web開催されました。

官民合同パトロール



車両系建設機械には検査済み標章を貼付することが労働安全衛生法で義務付けられています。

経験値の少ない若い人は危険認知度が低いので配慮が必要です。きれいな現場は危険が少ない、整理整頓をお願いします。

実施日 10月20日(火) **参加者** 9名
磐田労働基準監督署 榊原副署長
中遠農林事務所 加藤検査監・倉田検査監・川畑検査監
建災防袋井分会(袋井建協) 中山主任安全指導者
安全指導者4名
実施箇所 2箇所 森地区(農林2箇所)

実施日 10月22日(木) **参加者** 7名
磐田労働基準監督署 工藤安全衛生課長
袋井土木事務所 牧村検査監
建災防袋井分会(袋井建協) 中村副会長(安全指導者)
安全指導者4名
実施箇所 2箇所 小笠地区(土木2箇所)

これい〜ね!

すぐ直そう!!



工事看板・標識看板の工夫!!
メッシュシートにより、交差点付近での視界の確保と海岸部での強風対策が講じられています。また、外国語での表記もなされています。



重機の持込機械届出書に運転者の顔写真を添付され、責任者の把握が容易となっています。



作業区間全体に渡り、立入禁止措置がなされています。また、全てのバリケードに注意喚起用の横幕が張られています。



仮設道路に、重機車両等の転落防止用の路肩表示がなされていません。安衛則第540条

建設業年末年始労働災害防止強調月間
令和2年12月1日~令和3年1月15日

「無事故の歳末 明るい正月」